

## 記念号200号までの歩み

### 【目次】

- 記念号No.200の発刊にあたり ..... 2～3
- 審議された議件 ..... 4～5
- 定例会 6月会議 一般質問 ..... 6～9
- 令和4年度各会計決算認定 ..... 10～11
- 常任委員会レポート ..... 12～13
- 各常任委員会構成 ..... 14
- 行政報告等 ..... 15
- 議会日誌・編集後記 ..... 16

令和5年12月

NO 200

# 議会だより二〇〇号の

## 発行にあたり

議長 飯田 睦 穂



昭和四十六年十二月に「東利尻町 議会だより」として創刊以来、町民皆様のご理解とご支援を賜りながら、平成十年九月には第一〇〇号を、そしてここに「議会だより 利尻富士」第二〇〇号を迎えることができましたことは、誠に意義深いものであり喜ばしい限りであります。

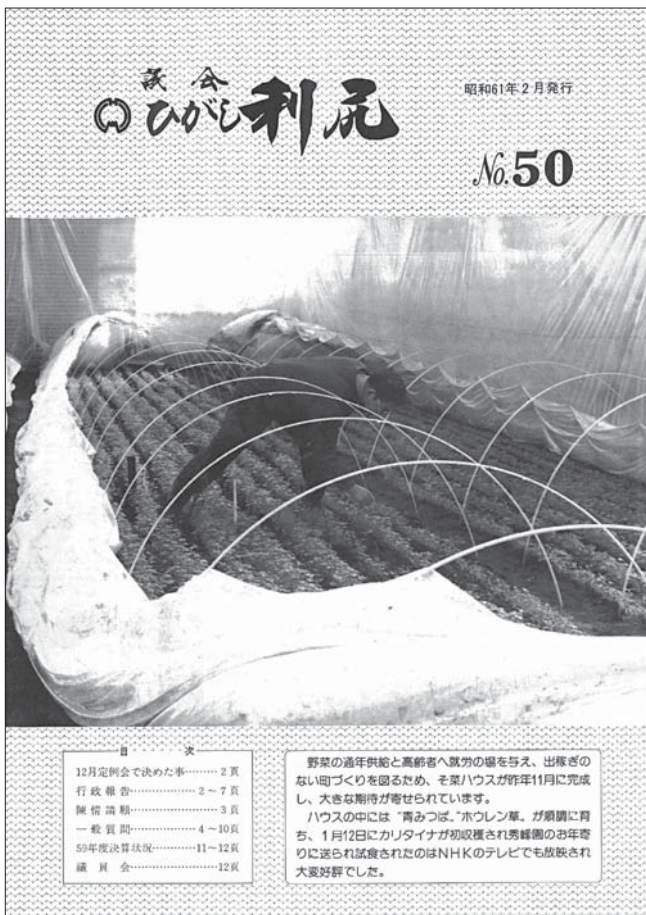
この五十数年間を顧みますと、その時代時代の出来事が一般質問や予算審議などとして顕著に表れており、この編集にあたって来られた歴代の広報委員、事務局が残した功績は非常に大きいものがあると思えます。

社会情勢の著しい変化とともに複雑多様化する地方行政において、少子高齢化、人口減少、人手不足、物価高騰などなど、山積する課題の中、町民に最も近い議会の役割は極めて重要なものとなつてきており、この重責を果たすべく本町発展のため、町民に信頼され開かれた議会を目指し、これからも議会をより身近に感じていただき、町民の皆さんに親しみやすく、わかりやすい紙面の充実に一層努力してまいります。

三〇〇号への第一歩を機会に創刊時の原点へ立ち返って、情報化時代に即したものとなるよう議員一丸となって取り組んでまいりますので、町民皆様からの暖かいご指導とご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。発行にあたってのご挨拶といたします。

# 1986年 (37年前)

昭和61年2月 No.50発行



# 1971年 (52年前)

昭和46年12月1日 No.1発行



# 議会だより利尻富士

## 発刊二〇〇号を祝して

町長 田村 祥三



議会だより「利尻富士」が、今号で記念すべき第二〇〇号を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

発刊された昭和四十六年から五十二年間、半世紀にわたる発行し続けてこられたことは、現役議員はもとより歴代議員の皆様のご努力と熱意の賜物であり、その並々ならぬご苦労、ご尽力に対し、深く敬意を表する次第であります。

議会だよりは、利尻富士町議会での質問や審議、各委員会等の活動状況など、詳細な内容が広く町民に周知されており、特に人口減少や少子高齢化など課題が山積する中において、町の施策や予算の執行状況など議会の使命であります町政の監視や施策の最終決定の過程の議論についても分かりやすく親しみのある紙面づくりに心がけられるなど開かれた議会づくりと情報公開の推進が図られている意義は大変大きなものがあります。

今後におかれましても、議会だより「利尻富士」が議会活動の情報誌としてさらに発展し、町民皆様から愛読されますことを心より祈念して、お祝いのごことばといたします。

# 2011年(12年前)

平成23年3月 No.150発行



総合交流促進施設「りぶら」ついに完成!! ~落成記念式・祝賀会~



議会

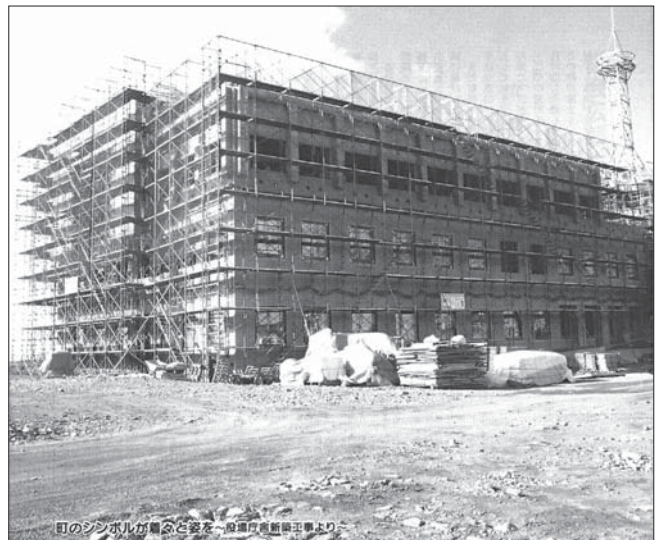
利尻富士

●特集1 「平成21年度各会計決算認定!!」	2
●議案審議 平成22年度利尻富士町一般会計補正予算など	4~8
●委員会報告 総合交流促進施設現況調査ほか	8
●行政報告 利尻空港の利用状況についてなど	9
●一般質問 子名強がんワクチン接種の実施と助成についてなど	10~13
●意見書 T P Pへの参加を行わないよう求める意見書ほか	13
●議案審議 町議会の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてなど	3

平成23年3月 No.150

# 1998年(25年前)

平成10年9月 No.100発行



町のシンボルが響くと姿を、一般道向新築工事より



議会

利尻富士

●100号記念特集	2~3
●特集「自動車の投棄を防止する条例の制定」	10~11
●議案審議 第10小学校校舎改築工事請負契約など	7~9
●一般質問 環境ホームの対策	12~13
●行政報告 町立地区における利尻病院の調査	13
●委員会報告 総合体育館現況調査ほか	14~15
●議案審議 福留西合合併、利尻島屋久町など	16~19
●意見書 上尾理用着別事件の「解決交渉テーブル設置」など	20
●議案審議 第10号同5号線改築工事請負契約など	4~5
●行政報告 利尻富士温泉の利尻状況など	5~6
●議案審議 新築用一戸建て取得契約など	21
●行政報告 日韓企業交流会サミットなど	21
●議案審議 町長就任あいさつ	22
●議案審議 議会の責任 (新築用投資額責任あいさつ)	23
●行政報告 エア・ニッポン本常務との協議など	24

平成10年9月 No.100 記念特集号

## 6月会議で審議された議件

「専決処分とは」議会の議決・決定を経るべき事柄について長が規定に基づき議会の議決・決定前に自ら処理することです  
 「意見書とは」地方公共団体の公益に関することに関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです

### 専決処分

□専決処分（利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正）の承認を求めることについて  
 町民税、法人町民税、たばこ税、固定資産税、軽自動車税に関する規定の整備【承認】

□専決処分（利尻富士町離島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正）の承認を求めることについて  
 離島振興法の適用期限が2年延長されることによる、条例期限の一部改正【承認】

□専決処分（令和4年度利尻富士町一般会計補正予算（第9号））の承認を求めることについて  
 歳入歳出7,803万5千円追加し、総額を56億6,692万円と定める【承認】

□専決処分（令和4年度利尻富士町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて  
 歳入歳出30万円追加し、総額を4,241万1千円と定める【承認】

□専決処分（令和4年度利尻富士町介護サービス特別会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて  
 歳入歳出280万円追加し、総額を5億1,374万9千円と定める【承認】

### 条例改正

□利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正について  
 配当割額又は株式等譲渡所得割額の控除、町民税、軽自動車税に関する規定の整備【原案可決】

□利尻富士町国民健康保険税

条例の一部改正について  
 課税限度額、軽減対象となる所得基準額の引き上げ、税率、特例対象被保険者等に係る申告の改正【原案可決】

### 一般会計ほか補正予算審議

□令和5年度 利尻富士町一般会計補正予算（第2号）  
 歳入歳出8,206万8千円追加し、総額を53億3,072万3千円と定める【原案可決】

□令和5年度 利尻富士町港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）  
 歳入歳出67万6千円追加し、総額を6,743万9千円と定める【原案可決】

### その他

□鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更について  
 鴛泊辺地、鬼脇辺地計画の変更【原案可決】

### 意見書

□ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について【原案可決、関係省庁へ送付】

## 「定例会5月会議」（5月16日）

□医療技術者等修学資金貸付条例の一部改正について  
 貸付金額の引き上げによる一部改正【原案可決】

□利尻富士町医療技術者等職員就労奨励金交付条例の一部改正について  
 交付対象者に救急救命士、保育士を追加する、奨励金の交付を勤務期間終了ごとに交付する方法に改めるための一部改正【原案可決】

□葬苑建設工事（建築主体）請負契約について  
 契約目的 葬苑建設工事（建築主体）  
 契約方法 指名競争入札による契約  
 契約金額 2億6,510万円  
 相手方 石塚・雨森・山本経常建設共同企業体【原案可決】

□火葬炉設備工事請負契約について  
 契約目的 火葬炉設備工事  
 契約方法 随意契約  
 契約金額 5,500万円  
 相手方 富士建設工業株式会社【原案可決】

□令和5年度 利尻富士町一般会計補正予算（第1号）  
 歳入歳出715万5千円追加し、総額を52億4,865万5千円と定める【原案可決】

## 9月会議で審議された議件

「決算認定とは」議会が予算執行の結果を審査し、予算が適正かつ妥当に使われているかどうか認定することです  
 「契約」予定価格5,000万円以上の工事又は製造の請負契約については、規定により町議会の議決に付すよう定められています



### 決算認定

□令和4年度 利尻富士町各会計歳入歳出決算の認定について

令和4年度利尻富士町各会計の決算については、一般会計ほか10特別会計を併せ、歳入総額75億1,953万3,336円、歳出総額74億3,484万3,329円、翌年度へ繰越すべき財源が42万円で差引額8,427万7円となり、黒字決算を維持しており、堅実な財政運営を行っていることを認める

【認定】

### 一般会計ほか補正予算審議

□令和5年度 利尻富士町一般会計補正予算(第4号)  
 歳入歳出2,752万9千円追加し、総額を54億1,705万3千円と定める

【原案可決】

□令和5年度 利尻富士町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出781万4千円追加し、総額を3億4,597万9千円と定める

【原案可決】

### 報告

□令和4年度利尻富士町一般会計及び特別会計決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、議会に提出されるもの

### 意見書

□国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書の提出について

【原案可決、関係省庁へ送付】

### 契約

□特定環境保全公共下水道事業改築工事(監視制御設備改築) 請負契約について

契約目的 特定環境保全公共下水道事業改築工事  
 契約方法 指名競争入札による契約

契約金額 6,765万円  
 相手方 利尻電業株式会社

【原案可決】

### その他

□北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

後志広域連合が、新たに加入することに伴う、規約の一部を変更するもの

【原案可決】

## 【定例会8月会議】(8月18日)

□令和5年度 利尻富士町一般会計補正予算(第3号)  
 歳入歳出5,880万1千円追加し、総額を53億8,952万4千円と定める

【原案可決】

## 【定例会10月会議】(10月27日)

□固定資産評価審査委員会の選任について  
 地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求め

篤泊字栄町 工藤 明夫 氏

□教育委員会委員の任命について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求め

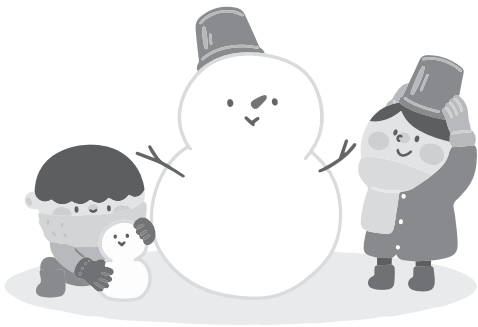
篤泊字富士野 山澤 由起子 氏

□利尻富士町議会常任委員会委員の選任について

□利尻富士町議会運営委員会委員の選任について

□利尻富士町議会議員の定数等調査特別委員会設置に関する決議について

□利尻富士町議会デジタル化推進調査特別委員会設置に関する決議について





## 議員3名が一般質問

平田 徹 議員

### 利尻空港の愛称について



**平田議員** 昨今、全国各地にある空港において、正式名称とは別に各地の特色などを取り入れた様々な「愛称」を付ける空港が増えてきているのは、報道などを通じて存じの事かと思えます。一部の例を挙げますと、県出身の偉人の名を冠した「高知龍馬空港」、伝統的な行事を冠した「徳島阿波おどり空港」、県内の名所と県出身の漫画家の作品を冠した「鳥取砂丘コナン空港」、

北海道においては、地域に飛来する特定天然記念物の名を冠した「たんちよう釧路空港」、広く認知される地方名を組み入れた「とかち帯広空港」など、全国に97あるとされる空港のうち、私の調べでは、47の空港に正式名称とは別の愛称が付けられているようです。それぞれの空港で特色のある名称を冠することでイメージアップや知名度の向上に繋げたり、観光客誘致や空港利用者の大幅アップに成功している空港もあるとのこと。そこで、当町の「利尻空港」においても、魅力的な愛称を公募するなど空港の愛称、を通じてさらなる知名度、認知度の向上を図ってみてはどうかと考えますが、この施策についてどのように思われるのか、町長の見解をお伺いいたします。

**町長** 質問の中にもある通り国土交通省において、全国の空港の数は97空港と公表されており、そのうち北海道には14空港あり、都道府県の中で最も多い空港の数となっております。このうち北海道で、愛称がついている空港は、旭川空港、紋別空港、中標津空

港、釧路空港、帯広空港の5空港となっておりますが、愛称の由来としては、空港の位置を知ってもらうためや、天然記念物の名を冠したものなど、いずれも空港の利用促進や知名度向上を目的としたものとなっております。利尻空港においては、既に観光地として認知されており、そして日本百名山の利尻山の利尻を冠していることから、既に十分に知名度は高いと考えており、航空路線のJAL便、ANA便についても、コロナ感染症の位置付けが5類に引き下げられ、行動制限が解除されたことを受け、二つある航空路線の搭乗率も高く、観光客による利尻空港の利用促進も十分に図られている現状であります。しかしながら、国内で愛称を定めている空港が増えてきているのは承知しており、愛称を使用することによって、地域の認知度向上に効果があったとの声も十分把握しております。ここで、空港の愛称の設定に係る手続き等を述べさせていただきますが、愛称は空港法、法律で定められた名称とは異なることから、愛称を決定する際の手

続きに、特に定めはありませんが、ご存知のように、利尻空港は北海道管理の空港であります。あくまでも地元からの愛称設定の要望によるもので、地元の合意形成が図られていなければ、北海道としても賛同が難しいことはもちろん、航空会社も地元の合意を重視するとの声もあります。利尻空港の愛称を設定する場合、地元の合意が大事であります。地域の総意も大切であるとされており、この地域の中に少なくとも、道北離島航空路線協議会という協議会があります。この協議会は構成員が北海道、利尻、礼文3町長と商工会長、ANA、HAC、宗谷総合振興局、オプザバーとして、国土交通省航空局で、北海道が事務局であります。少なくとも、この協議会の構成員である。利札3町の合意形成が必要と考えられております。愛称は航空会社を初めとした関係者や、利用客に広く用いられることとなるため、空港ターミナルの表示類や道路の案内板などが北海道の費用も発生することから、空港が想定されることから、空港管理者である北海道との協議も必要となります。航空会社などでの愛称の使用について

は、特に取り扱いについて定めたものではありませんが、時刻表等の利用客が目にする媒体で広く使用されます。他方、地元の合意が得られず、航空会社が使用を見送る場合は、愛称を定めることに意味がないと言えますので、繰り返しになりますが、地元の合意、地域の総意が大切であります。以上のように、様々な観点から、利尻空港の愛称について設定するか否か設定するならば、どのような名称が良いのか。地元の合意、総意の進め方等について検討し、愛称の設定について判断したいと考えております。

**平田議員(再質問)** 地域住民等の合意が必要ということでは難しいだろうということには理解しました。利尻空港においては当然、地域振興の空の玄関口ということで、町民の札幌への限りある重要な航空路線であり、利尻空港も重要な観光資源だと思えます。今回は愛称をとということで質問させていただきましたけれども、様々な利用活性化も図れることがあるかと思えますので、その辺のことについても町長に重ねてお願いしておき

たいと思います。



## 上田光斗夢 議員 子育て世帯支援 について

**上田議員** 現在、国の給付金や町の子育て世帯物価高騰支援金支給事業などで子育て世帯への現金給付を行っておりませんが、他世代からは「子どものためにきちんと使われているのか分らない」、「親の娯楽などに消えているのでは」と心配する声をお聞きします。少子化や実質賃金が下がる中、子ども支援、子育て世帯支援は必要と思いますが、他世代の理解や、これから子育てを考えている世代の安心感を作る意味でも、現在も行っている修学旅行費用補助の拡大など、学校教育で子どもに必ずかかってしまう費用を町で全額負担していくなど、教育分野での無償化で子ども支援、子育て世帯支援をしていくべきと考えますが、教育長の所見を伺います。

**教育長** これまでのコロナ禍における教育費負担が家計に与える影響も懸念され、また、昨今のエネルギーや物価高騰による子育てへの経済的負担は計り知れないものと推察しておりますが、私からは、質問の趣旨にある通り、学校教育、義務教育での支援策についてご説明をしながら申し上げたいと思います。義務教育は、憲法の規定により教育を受ける権利と保護者には受けさせる義務、そして義務教育は無償の原則が謳われ、教科書は、国において購入し、1人1人の児童生徒に給与されることとされています。さらに、小中学校の設置義務者である市町村には、学校教育法に基づく学校経費の全てを負擔せざるを得ないという状況です。市町村の財政力によって、設置者負担の例外として、県費負擔教職員制度により、基幹的な教職員については、都道府県にその人件費と旅費の負擔義務を課すとともに、任命権が付与され、その経費については、国が2分の1の負擔義務を負う義務教育費国庫負担制度により負担区分がなされております。また、その他、学校経営に必要な経常的な経費は、設置者である市町村が負擔し、その大部分の財源は一般財源により、充てられています。しかし、学校教育を行う上で必要な児童生徒の個人用の用に供する教材については、義務教育無償の原則に触れるものではないと解されているため、必要な範囲で負担

を求めているというのが、義務教育費負担のナショナルミニマムとされているところであります。ご質問にあります修学旅行費用や学校教育費用の負担については、ご承知の通り、修学旅行については、僻地児童生徒援助費国庫補助金により、国から3分の2の補助を受けて、1名当たり、小学校で3万円。中学校で5万5千円を補助費として、各校に間接的に補助しており、残りの4割強を、保護者からの徴収金として、小学校では1万4千円程度、中学校では4万円から5万円程度負担しております。徴収の方法については、それぞれの学校で違いはありますが、事前に3年間で積み立て、あるいは旅行前に口座からの引き落としによる徴収の方法をとっております。また、旅行経費においても、中学校では昨年度より行き先を首都圏へ変更しておりますが、移動に関わる経費を公共交通を使うなど工夫し、これまでの経費増とならない工夫を凝らして実施しています。さらに、授業には欠かせない教材費の保護者負担については、先ほど申し上げました、必要な範囲での負担とい

う原則から、小学校では年間9千円。中学校では1万3千円ほどとなっており、1人親や障害を持つ児童生徒のいる世帯には、準要保護児童生徒就学援助費制度という制度の活用もなされております。以上のように、義務教育において子育て世帯への支援としては、児童生徒へ直接関わる経費を間接的に学校を通して支援していることから、ご指摘にあります。対象世帯への直接的な現金支給とは、目的が異なっているものであることを踏まえて、ご理解いただけたらと思います。さらに、本町は今年度、ICTいわゆるGIGAスクールを整備して3年目に入りました。本町では、全道的にも1人1台端末がいち早く整備され、授業での活用の幅も広がり、タブレットを活用した協働的で深い学びや個別最適な学びなど、授業改革に不可欠なツールとして、デジタルやAIコンテンツを身につけられるよう、先進的に教職員とともに進めており、もはやタブレット端末は教科書であり、子供たちの学びの一部でもあります。こうしたICTやアプリなども更新の時期を迎えつつあり、これら

の費用負担も課題として挙げられております。時代の流れとともに、児童生徒自身が風雲の志のごとく、社会での自立や明るい未来を創造できるよう、教育委員会といたしましても、義務教育理念のもと、本町における総合的な政策の中で、子育て世帯への重圧感を軽減するため、その支援の方向性については、町長と相談しながら取り組んでまいりたいと考えております。

**上田議員(再質問)** 町内では小学生3万円、中学生で5万円支給しており、今年の中学生の修学旅行でいえば保護者負担は4万円ほどだったと聞きます。町内では4月から給食費無償化が始まりましたが、私が子供の頃は、保護者が給食費を払っていないことで噂をされ、給食中肩身の狭い思いをした子も実際にいました。そういったことを防ぐ意味でも大変意義深いものだと思います。保護者の資質や金銭状況で子供が辛い思いをするのは、少なくとも学校教育の中ではあってほしくないと、みんな平等であってほしいと今回修学旅行費を例に挙げて質問に立たせていただきました。

ちなみに修学旅行費無償化は北海道内では歌志内市が行っていますし、子育て支援のために議会で提案している自治体も先日、ニュースで取り上げられておりました。子供たちは町民みんなの宝であり、島の未来そのものですが、今日傍聴にいらつしゃっている利尻高校生の皆さんの中にも、今後も島で暮らしていきたいと考えている方もいると思います。その方たちが子育てを含めて人生設計をするときに「この町で子供を育てれば安心なんだと、応援してもらえらるんだ。」と思っただけのように、また町への移住を考えている方やお子さんを迎えたいと考えている家庭にも、そう思っただけでなく、コロナや物価高などの一時的な事情のものだけではなく、みんなが安心できる継続的な子供支援、教育支援に力を入れていっていただきたいと考えます。



授業に活用したタブレット端末

## 大森智樹議員 基幹産業の活性化について



**大森議員** 全国的にも働き手不足の最中、わが町の宿泊施設でも人手不足等により満室に出来ない状況が続いております。また、漁師の方々でも陸作業を手伝ってくれる人がいれば、大変助かるとよく耳にします。職員服務規程では、営利企業等従事許可の手続きにより、許可願を提出し許可をもらえば、営利企業等に従事することが可能と解釈できる文言があります。

本職に影響を及ぼさない時間外などであれば、職員が町の基幹産業である漁業や観光産業を手助けしながら盛り上げて行くことで、町の活性化に大いに繋がると考えますが、町長の所信をお伺いします。

**町長** 近年、人口減少や高齢化の影響による生産年齢人口の減少と思われる人手不足が全国的に叫ばれており、特にコロナが下火になり、様々な業種でその傾向が顕著に現れるようになりました。本町でも、漁業関係ではウニ漁、天然昆布漁、養殖昆布漁の陸作業の人手は、以前から慢性的に不足している状況で、作業員の確保が課題となっております。また、新型コロナウイルスの影響により、観光関連事業者の人手不足が特に顕著になっているとのことで、これまで派遣社員などにより、人手を確保していましたが、新型コロナウイルスにより、派遣会社の休業や規模縮小により、人員削減を余儀なくされ、多くの人材が他業界に移らざるを得ない状況に追い込まれた影響もあるようで、募集しても集まらないという声を多く伺っております。本年5月8日から



行動制限がなくなり、需要の回復を大いに期待しておりますが、回復スピードがあまりにも急激で、従業員の確保が追いつかないため、稼働を制限しなければならぬというもどかしい状況にあることは承知しております。さてご質問は、職員が基幹産業の漁業や観光産業の手助けをすることで、町の活性化に繋がります。町の内容と思いますが、まず公務員の営利企業等の従事、いわゆる副業と言われるものについては、法令等により規制されており、地方公務員法第38条第1項では、職員は任命権者の許可を受けなければ、商業、工業または金融業、その他営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社、その他の団体の役員、その他人事院規則、地方公共団体の規則で定める地位を兼ね、もしくは自ら営利企業を営み、または報酬を得て、いかなる事業もしくは事務にも従事してはならないと規定されており、任命権者の許可なくして営利企業等に従事できないこととされております。またこの他にも、同法第30条では、公務員の職務の基本基準として、全ての職

員は全体の奉仕者として、公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならぬ。第33条では、信用失墜行為の禁止とし、職員はその職の信用を傷つけ、または職員の職の全体の不名誉となるような行為をしてはならない。さらに第35条では、職務に専念する義務として、その勤務時間及び職務上の注力力の全てをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責めを有する職務にのみ従事しなければならぬ、といった公共の利益のために勤務する公務員には、強い服務上の規律が法令に定められております。町においても、利尻富士町職員服務規程第14条第1項により、職員は地方公務員法第38条第1項の規定による営利企業等に従事するための許可を受けようとする場合は、営利企業等従事許可願を提出しなければならぬと規定し、町長の許可なく営利企業等に従事することを規制しています。7番議員もご指摘の通り、私も非常に当初から申し上げている通り、浜が元気でなければ、街に活気が出ない、活性化が図

れないと考えております。これまで職員が特に養殖昆布漁が普及し、自然と養殖コンブ等の手伝いをするようになってきた背景からも、町の活性化の一助として、慣例的に認めておりましたが、今年度からは、職員の規律保持の観点からも、服務規程に定める営利企業等従事許可願を提出させ、許可することとしております。今年度は既に養殖昆布42件が最多で、合計52件の許可願が提出されております。このように、公務員の副業については、諸々の規制はあるものの、禁止されているわけではありませんが、全国的にも、地域貢献活動としての兼業については、積極的に行われるよう、国においても、副業に関する先進的な取り組み事例の調査交渉を行っている現状でありますので、本町の基幹産業の発展のため、許可につきましても、先ほど申し上げた通り、公務員としての責務を果たすことが第1でありますので、職員が公務遂行への影響や、公平中立の確保にも留意し、基幹産業を繁忙期の作業支援である限り、社会貢献、地域貢献を目的とした副業に限り許可すること

を基本とし、今後も漁業、観光問わず、基幹産業の活性化に繋がるよう、職員の副業について適切に取り扱ってまいります。

**大森議員(再質問)** 地域社会貢献活動の兼業ということ、許可を出すことに対し、前向きに考えてもらえるということ、今、国では多様で柔軟な働き方のニーズの高まりや、人口減少に伴う人材不足に陥り、公務以外でも地域活性化のために従事することは有益であると国も副業、兼業促進に対するガイドラインを作成しております。あと町長の考えと許可のもと町の活性化に従事していても、町民の皆様の中には「公務以外で報酬を得ても大丈夫なのか。」と疑問を持っている方々も多数いると聞いております。そういう意味では服務規程に則り許可を得て行われているというのを例えば閲覧板や、ホームページに載せて町民の皆様にも伝え、ご理解していただく。そして問題にもなっていない働き手不足や町の活性化のために柔軟にできるといことを改めてご理解していただき、職員の高い士気のもと町

## 質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



養殖昆布干しの様子

一丸となって活性化に繋がっていくことを願います。

# 令和4年度 決算歳出総額 74億3,484万円を認定

令和4年度各会計決算審査特別委員会は9月12日に開催し、付託された11会計の決算審査を行いました。

## 令和4年度 決算・質疑内容

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	56億5,827万円	55億9,799万円	6,028万円
簡易水道事業	1億272万円	1億244万円	28万円
下水道事業	2億1,198万円	2億1,124万円	74万円
港湾整備事業	6,662万円	6,654万円	8万円
温泉事業	1億3,437万円	1億3,317万円	119万円
国民健康保険事業	3億4,651万円	3億4,235万円	415万円
後期高齢者医療	4,178万円	4,177万円	2万円
介護保険事業	3億993万円	2億9,822万円	1,171万円
介護サービス(秀峰園・老健・デイサービス)	5億1,112万円	5億1,017万円	95万円
歯科施設(鬼脇歯科診療所)	4,992万円	4,811万円	182万円
国民健康保険施設(鷺泊診療所)	8,632万円	8,284万円	348万円
合計	75億1,953万円	74億3,484万円	8,469万円

金額の単位は「万円」で四捨五入していますので合計・差額が合わない場合があります。

### 総務費

**◎戸嶋委員** 地域おこし協力隊事業とありますが、この内容について簡単に結構ですので、事業内容について説明していただきたいということ、定住促進事業についても説明をお願いしたいと思います。

**▲企画政策課長** 1点目の地域おこし協力隊事業でございますが、令和4年度につきましては、4名体制で移住定住の専門員として1名、観光の推進員として1名、水産部門で1名、教育委員会の方に1名というこの4名体制で行っております。計上している費用は報酬や、資格を取るための旅費や受講料、手数料などで、移住定住部門では、旅行業の資格を取って、島に定住することを考えてくれている協力隊もおりまして、孵化場のお手伝いをしていく水産部門の方もインストラクターの資格などを将来

的に取りたいということ、事前講習の費用もこの中から計上しています。将来的な隊員の移住に向けて、町も協力しながら活動していきます。この活動費にしましては、上限480万円まで全額特別交付税で措置されています。町も上限である480万円全額を予算計上しています。2点目の定住促進事業ですが、民間のコンドミニアム、旅番屋さんを借り上げましてワーケーション事業に取り組んでいます。コロナの影響でテレワークが急速に進み、地方で仕事をする動きが加速しつつあったので、本町も令和3年度から3年間部屋をお借りし取組んでいます。1年目は1室借りて、無償で行い、2年目の令和4年度では3部屋お借りし有料で取組みました。定住促進事業とはなっています。が、なかなか一度で島に来て定住していただくのはハードルが高いので、島を体験していただき、将来的なリピーターと関係人口を増やしながら、移住に繋がっていくという趣旨で取り組んでいます。結果的にこの事業を通じて定住に繋がった方はまだ出ていませんが、ワーケーションと別で、水産加工業者にリゾートバイトのような形で関わってくれたり、リピーターで何回も島に来てくださったりなど効果もありました。観光ホテルの代わりにすることは当然、出来ませんので、1週間以上2週間以内は島に滞在していただき、滞在中に商店街で食材を買い自炊したり、飲食店で食事をとったりなど、地域経済にも貢献しながら、地域の人も関わりを持つことがSNS等で利尻島の良さを情報発信してくれていることに繋がっているのではないかと考えております。

**◎戸嶋委員(再質疑)** 地域おこし協力隊につきましては、何か可能性があるようなこともありますし、若干我が町自体も職員が不足しているところで、貴重な人



定住促進事業で借上げをしている旅番屋

材だと思えますので、丁寧に大事にしたいと思っています。定住促進事業ではまだまだ先の話ではあるのかと思えますけれども、可能性のある事業だと思えますので、さらに粘り強く進めてもらいたいと思えます。

## 歳入一括質疑

**◎大森委員** 住宅使用料の収入未済額についてお聞きします。令和4年度は2,000万円を超えています。令和3年度では1,500万円弱。令和2年度では1,100万円程度、令和元年度では1,000万円程度でした。その未済額の増え方が、2年度から3年度では300万円以上増え、3年度から4年度で500万円を超えてきています。この金額が少し突出していると思われませんが、このことについて、説明して頂きたいと思えます。

**▲建設課長** 町営住宅の収入未済額についてですが、令和元年度から令和4年度まで多額の未済額があるということと原因につきましては、内部で調べまして、徴収と督促などが、足りていなかったということ、今年度の徴収の対応につきましては、9月中に未払い

の滞納者全員に對しまして、督促状を発送します。督促状の発送後につきましては納入状況を確認しまして、未払いが続く場合は電話連絡をし、面談などを通じて、支払いについて協議を行い、支払いスケジュールや方法について決めたいと考えています。会計課など関連部署と協力して、情報共有を行い、共同で未払いの徴収に取り組んでいきたいと考えています。

**◎大森委員(再質疑)** 令和4年度利尻富士町一般会計および特別会計歳入歳出決算審議意見書の中でも、各課連携の上という言葉もありません。そういう意味では、建設課だけの問題ではなく、今後、全課で協力し合う、取り組みやビジョンのようなものもあるということでしょうか。

**▲副町長** ただいま大森委員からお話ありました、そして監査委員の意見書にも書かれておりました。各課

の連携については、各課で、徴収担当が集まりまして水道料、住宅料、税金などのそれぞれの滞納の状況を、持ち寄って、情報を共有しながら各家庭に合った支払い方法を調整していくというやり方をこれまで進めてきております。ただ最近連携がどうなのかというところは、若干もう少しやっただ方がいいのではという部分もございまして、また再度指導し、連携強化をして、徴収率が上がるように努めてまいりたいと思えます。

**◎大森委員(再々質疑)** お金を徴収することは、精神的にも大変なことと想像できます。ですが町長をはじめ、議員の皆様方の中にも人生経験豊かな方々がおります。歳入確保のため、ワンチームとなって取り組む方法もあるかと思われませんが、今、副町長がおっしゃったように連携強化して改善されていくことを願っております。

### 令和4年度決算審査特別委員会審査意見(要約)

人口減少や少子高齢化が進展し人材不足が深刻化するなか、また不安定な国際情勢等により大きな打撃を受けている地域経済にあって、町内経済の活性化や住民福祉の向上を推進し、町民一人ひとりがゆとりと豊かさを実感して笑顔で暮らせるまちを築くためには、町民をはじめ行政、議会が一丸となってこの難局に立ち向かわなければなりません。そのため、我々議員も激動する社会変化にいち早く対応し、停滞する経済情勢に的確に対処すべく、議会としての責任を果たしていかなければならないと感じております。今後も財政運営は厳しさを増すことが予想されますが、持続可能で安定した行財政運営の堅持を期待し、決算認定制度の意義を真摯に受け止めていただき、町民評価の高い次年度予算となることを強く望みます。

# 常任委員会レポート ～一般質問の検証～

議会の果たす役割として、町の施策の形成や決定の過程において、町民に対して説明責任を果たすことは極めて重要になっています。議会改革や議会活動のあり方を検討するため、議会におけるこれまでの一般質問を総務民教産建常任委員会として、検証しました。（8月18日）

## ●検証の方法

令和3年6月会議から令和5年3月会議までの、2年間に提出された一般質問17項目について、質問内容、町側の答弁、施策の進捗状況など、それぞれ議事録と資料をもとに検証をしました。

### 1. 「ふるさと利尻島」の活用方法について

各地のコンサートで歌っていただくなどの取り組み継続中。令和4年には全国のファンクラブ会員参加のコンサートも利尻島で実施するなど、観光の起爆剤とすべく活用している。島内でもIP放送やフェリーでの放送、コンサート開催などにより活用を継続しており、町民にも定着している。

### 2. 公共料金のキャッシュレス払いについて

北麓野営場、ゆ〜に、温泉施設、温泉プールにおいては、PayPayをすでに導入済である。その他の公共施設への導入については、引き続き検討する。



### 3. 町内体育施設の老朽化における建て替えについて

R4以降、総合体育館を含めた鷺泊地区の体育施設の利活用について、各利用団体と協議を行った。今後の人口規模と利用頻度を勘案しながら、より効率的で状況に合った施設整備や利用形態を検討していく。

### 4. 現在の秀峰園と老人保健施設の現状について

町広報、HP、新聞、ハローワーク、道社協、人材派遣会社等への求人を継続的に掲載している。関係機関、関係学校への訪問及び求人票を継続的に提出し、就学資金及び就労奨励金PR活動を実施している。又、他町村等の情報収集や外国人人材登用の検討も行っている。令和5年4月より国保中央病院の理学療法士出向による老健施設通所リハビリテーションを再開している。

### 5. 排雪の雪捨て場について

利尻漁協とすでに協議済である。排雪日程が決まったら漁組へ連絡し磯なまこ漁の出漁時は、午前中は陸上に排雪し、午後は海上に排雪する。磯なまこ漁がない時は、1日海上に排雪する。

### 6. 離岸堤の設置について

設置についてを継続して要望している。漁業者や漁協とも話し合いを継続している。

### 7. 地域連携DMOについて

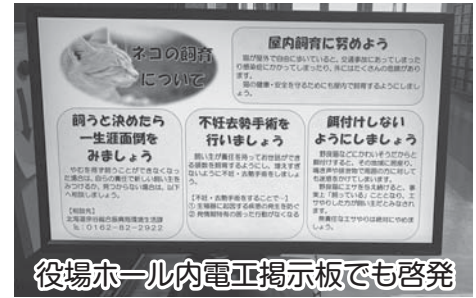
令和4年3月末に候補法人として登録され、令和6年度末の本登録に向け関係自治体、関係団体と取組を進めている。

## 8. 鷺泊神社通りの水害対策について

令和4年度に排水管路調査を実施し、令和5年度はその結果をもとに排水管路改修実施設計業務を発注し、大雨時に対応した改修方法を調査している。

## 9. 野良猫の問題について

苦情が入ったエサやり箇所については、北海道生活環境課（獣医師）の往訪指導・助言を随時行っている。今後さらに踏み込んだ啓発（エサやり・去勢・避妊）を行い理解と協力をお願いしていく。



## 10. 若者の人口流出対策について

令和5年3月商工会、建設協会、利尻漁協に対し働き手不足問題に関するアンケート調査を実施した。

現在取りまとめ中であり、その結果を踏まえ、今後協議会的な組織の設立も含めどのような体制や仕組みづくりが必要なのか、検討を重ねていく。

## 11. 利尻昆布の生産量、ブランド力の向上について

昆布のブランド力向上のため、昆布株主制度や新たにブルーカーボンの取り組みに着手するなど、付加価値向上の取り組みを実施している。

## 12. 鷺泊市街地街並み環境整備事業について

令和3年12月の聞き取り調査を含めた概略図をもとに令和5年度は協議会、期成会と事業計画スケジュールの見直しについて協議を進める。

## 13. 生理用品の小中学校のトイレへの設置について

各学校の養護教諭等と令和5年3月までに生理用品の設置方法や設置場所などについて協議し、令和5年4月より導入を図っている。今後、保護者向けアンケートを実施し、本取組についての改善点や課題の洗い出しを行うことで、より現状に即した取り組みをしていく。

## 14. 学校給食費支援事業の継続について

令和4年度は6月から新型コロナ臨時交付金を活用し無償化を実現した。令和5年度は、子ども・子育て応援基金を財源として無償化を継続している。令和6年度以降については、現在検討中である。

## 15. 島外への通院に係る交通費及び宿泊費の支援について

建てつけの基礎資料として、島外専門病院への定期的通院の現状を分析するにあたり、国保と後期のデータしかなく、部分的な分析になってしまうことが難儀であり、分析結果から支援の可否、内容を検討予定である。

## 16. 「鷺泊港湾長期構想」親水緑地空間整備について

長期構想については、令和4年度にみなとづくりセミナーを開催済。親水緑地空間の整備に向け関係機関とも協議調整中。

## 17. 男性用グループリビング施設の設置について

現在、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を次年度改定に向けたアンケートを実施中であり、集計結果において係るニーズを分析していく。また、今後の公営住宅新築、改築時に单身用、平屋、共同スペースやユニバーサルデザイン等をコンセプトにした事業が可能か検討している。

# 後期各委員会構成が決定

令和5年10月27日開催の定例会10月会議において、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任を行い、新構成による利尻富士町議会が始動します。

## 総務民教産建常任委員会

委員長 大森智樹  
副委員長 高坂敏夫  
委員 岡本晴樹  
委員 伊藤信勝  
委員 平田徹  
委員 上田光斗夢  
委員 佐々木勝夫  
委員 戸嶋郁夫  
委員 飯田睦穂

## 広報・広聴常任委員会

委員長 平田徹  
副委員長 上田光斗夢  
委員 岡本晴樹勝夫  
委員 伊藤信勝夫  
委員 高坂敏夫  
委員 佐々木勝夫  
委員 大森智樹夫  
委員 戸嶋郁夫  
委員 飯田睦穂

## 議会運営委員会

委員長 伊藤信勝  
副委員長 上田光斗夢  
委員 平田徹  
委員 大森智樹夫  
委員 戸嶋郁夫

## 議会

会長 岡本晴樹  
副会長 平田徹夫  
会計監事 戸嶋郁夫

### Q常任委員会とは？

A利尻富士町には2つの常任委員会があり、総務民教産建常任委員会は町政全般に関する事務を所管し、広報・広聴常任委員会は、議会広報誌の編集・発行に関する事務や、意見交換会に関する事務、議会傍聴に関する事務を所管しています。

### Q議会運営委員会とは？

A議会運営委員会は、会期や議事日程などの議会運営全般に関する協議を行う委員会です。

### Q議会とは？

A議員の親睦及び融和を図り、研修を行うとともに、町の進展に寄与することを目的とする会です。

# 特別委員会を設置しました

令和5年10月27日開催の定例会10月会議において、議会議員の定数等に関する調査特別委員会、そして新たな試みとして、議会デジタル化推進調査特別委員会を設置しました。

## 議会議員の定数等調査特別委員会

- 委員長／戸嶋郁夫  
副委員長／佐々木勝
- 委員／全議員で構成
- 目的／利尻富士町議会議員の定数等について調査する
- 調査の期間／調査が終了するまで

## 議会デジタル化推進調査特別委員会

- 委員長／上田光斗夢  
副委員長／平田徹
- 委員／全議員で構成
- 目的／利尻富士町議会のデジタル化推進について調査する
- 調査の期間／調査が終了するまで

### Q特別委員会とは？

A委員会のうち、必要のある場合や特定のことを調査・審査するために設置される委員会のことです。

# 行政報告

## 利尻空港利用状況

ANA便、HAC便ともに、乗降客数、搭乗率は増加しており、特にHAC増便分は日数も増え、利用客が大幅な伸びを見せております。時期を見てANA本社を訪問し、今年度の御礼と来年度の運行についてお願いしてまいりますし、HAC便についても、一層の利便性、搭乗率向上と安全運行をお願いしてまいります。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
<b>JAL (HAC)</b>	1,815人	1,650人	2,453人	2,657人	2,459人	2,219人
搭乗率	63.0%	61.4%	83.8%	92.3%	82.6%	81.1%
(前年同月比)	(+491人)	(+361人)	(+471人)	(+363人)	(-93人)	(-140人)
<b>JAL (HAC) 臨時便</b>	204人	348人	785人	928人	942人	905人
搭乗率	35.4%	36.3%	58.4%	80.6%	70.1%	72.5%
(前年同月比)	(+170人)	(+92人)	(+276人)	(+543人)	(+285人)	(-11人)
<b>ANA</b>	-	-	-	7,187人	7,392人	6,223人
搭乗率	-	-	-	74.6%	74.2%	62.5%
(前年同月比)	-	-	-	(+1,554人)	(+720人)	(+1,782人)

## 鴛泊中生が議会学習をしました!

7月10日、鴛泊中学校3年生が議会訪問学習で議会を訪れました。中学生からは普段の議員活動についてなど様々な質問がなされ、議員と交流しました。町政や議会の活動について、少しでも深い学びに繋げることができれば幸いです。



## 利尻高校生が議会傍聴をしました!

6月議会を利尻高校1・2年生総勢43名が傍聴席一杯に椅子を並べて傍聴しました。一般質問や条例改正などを傍聴し、議員がどのように町民の声を届けているのかを見学していただきました。



## 編集後記

冬の足音が近づく今日この頃ですが雪化粧した利尻山を見るといよいよ厳しい季節を向かえる準備をしなければと思います。さて今回広報誌の発刊で200号の記念誌となりました。これからも町民に見やすくわかりやすくを心掛け議会活動をお知らせしていきます。今年の漁業は天候に左右されましたが観光はコロナを乗り越えてV字回復した年だったと思います。4年ぶりに各種行事やイベントが開催され普段の日常が戻ってまいりました。今年もあと1ヶ月余りではありますが、まだコロナウイルスとインフルエンザには十分に気をつけて新しい年を迎えてまいりましょう。

広報・広聴常任委員会一同

## 議会に行こう!

(次の議会は12月中旬を予定)

**議会傍聴**は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



## 広報・広聴常任委員会

委員長／平田 徹

副委員長／上田光斗夢

委員／岡本 晴樹 伊藤 信勝

高坂 敏夫 佐々木 勝

大森 智樹 戸嶋 郁夫

飯田 睦穂

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

## 委員会レポート

### 議会運営委員会

定例会 6月会議の運営に係る協議 (6月16日)

定例会 9月会議の運営に係る協議 (9月5日)

### 総務民教産建常任委員会

一般質問の検証 (8月18日)

### 広報・広聴常任委員会

議会だより利尻富士No.200の編集についての協議 (11月15日)

## 議会日誌

- 6月3日 第21回利尻島一周悠遊覧人G前夜祭
- 4日 陸上自衛隊名寄駐屯地70周年記念行事 (名寄市)
- 9日 戦没者追悼式・利尻山登山安全祈願祭
- 15日 北海道離島振興町村議会議長会協議会 (札幌市)  
北海道町村議会議長会定期総会 (札幌市)
- 16日 第2回議会運営委員会
- 18日 自衛隊第二師団創立73周年記念行事 (旭川市)
- 23日 定例会 6月会議
- 27日 北見神社宵宮祭
- 29日 宮城県大和町議会行政視察
- 7月1日 利尻山神社例大祭
- 4日 全道議員研修会 (札幌市)
- 6日 利尻富士町自衛隊協力会総会
- 10日 鴛泊中学校3年生議会学習
- 14日 全国離島振興市町村議会議長会理事会・総会  
離島振興に関する研修会 (東京都)
- 29日 利尻島おしどまり会 (札幌市)
- 30日 北海島まつり (鬼脇地区)
- 8月3日 北海島まつり (鴛泊地区)
- 15日 鴛泊地区招魂慰霊祭及び平和記念祭
- 18日 第2回総務民教産建常任委員会・定例会 8月会議
- 26日 シベリア抑留慰霊碑除幕式・利尻島一周ふれあい  
サイクリング交流会・利尻島鬼脇会 (札幌市)
- 9月1日 ニツ石神社合祀遷座祭
- 5日 第3回議会運営委員会
- 12日 定例会 9月会議 (至13日)
- 16日 海上自衛隊大湊隊創設70周年記念行事 (青森県むつ市)
- 23日 会津まつり (福島県会津若松市)
- 24日 自民党移動政調会 (稚内市)
- 10月1日 金刀毘羅神社例大祭
- 4日 宗谷町村議会議長会監査 (稚内市)
- 14日 議員会親睦パークゴルフ大会
- 16日 全員協議会
- 17日 全国離島市町村議会議長会理事会 (Web会議)
- 24日 定期監査 (鬼脇地区施設対象)
- 27日 定例会10月会議・議員会総会
- 28日 猿払村開村百周年記念式典